


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

教員による教材提示のための ICT 活用 「PowerPoint を使用した体験的な学習」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部 3 年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に一単位時間集中することが苦手である。 ・体験的な学習に興味がある。 ・見通しがもちづらく、離席することが多い。 ・発語で意思を伝えようとするが、不明瞭なことが多く、伝わりづらいことがある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生活単元学習
	単元(題材)名	単元名「かいものにいこう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の利用や交通ルールについて、PowerPoint の教材を見ながら確認する。確認後に、教室や廊下を飲食店や道路に見立てて、体験から学習する。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○テレビやタブレット端末を使用した学習を通して、一定時間集中して学習に取り組むことができるようにする。(タブレット端末の操作、テレビやコードなどの道具の準備など)</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさ・背景や文字の配色・アニメーションなどを豊富に盛り込み、どこに注目すればよいか分かるようにした。 ・児童が自分で画像を拡大表示させたり、動画を再生したりして、学習を進めている達成感を味わえるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、テレビ
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・音やアニメーションなどに興味をもち、集中して学習に取り組める時間が増えた。 ・本時に取り組む内容を拡大して見ることで、単元の内容の見通しをもつことができた。

(令和4年度)